

(5) 西宮市の施策などについて

問 29 男女がともに活躍できる職場づくりや、男女共同参画全般について、本市に対する意見・要望などがあれば何でもお書きください。

●自由意見数

意見数	364 件
有効回答者数 (1,906 人) に占める 自由意見記入者数の割合	19.1%

○性別

項目	件数	割合
1. 女性	218 件	59.9%
2. 男性	142 件	39.0%
3. ()	3 件	0.8%
無回答	1 件	0.3%
計	364 件	100.0%

○年齢別

項目	件数	割合
1. 10 歳代	105 件	28.8%
2. 20 歳代	30 件	8.2%
3. 30 歳代	44 件	12.1%
4. 40 歳代	61 件	16.8%
5. 50 歳代	53 件	14.6%
6. 60 歳代	35 件	9.6%
7. 70 歳以上	36 件	9.9%
計	364 件	100.0%

《主な意見》

●男女平等観に関する意見

◇性別ではなく能力で分担

- ・全てにおいて、男女の区別ではなく、個人の能力、気力、体力で判断し、役割を分担するのがよいと思う。それは「男らしさ」「女らしさ」という言葉にすれば固定観念にとらわれてしまうが「その人らしさ」で考えればよいのではないか。実現するために、タテ・ヨコの意識統一が必要であり、コミュニケーションも重要。その場をもうける行政のアクションに期待。(30歳代・女性) 等

◇男女で支えあえる環境づくり

- ・男女ともに活躍するのも大切だと思うが、力を入れすぎると少子化になる一方だと思う。男性が育児休暇を取れるようにするとか、幼稚園、保育所を増やすなど育児を男女で支え合える環境づくりも大切だと思う。(10歳代・女性)
- ・待機児童を減らすことができれば、職場に戻ることができる女性も増えて、子育てしやすい町になると思う。西宮市だけで解決できるかわからないが、男性も女性も、ある一定期間は必ず育児休暇を取らなければいけないという制度があれば、育児と仕事における男女の負担の比率の均衡が取れるのではないかと思う。「育児休暇を取りたいければ取る」というシステムでは、周りの目やキャリアを気にして、取りづらい雰囲気があると思う。育児は夫婦で行うべきであり、男性は育児を「手伝う」という姿勢がそもそも間違っていると思う。(10歳代、女性) 等

◇言葉・フレーズの工夫・配慮

- ・「男女共同参画」という言葉が何となく堅苦しく聞こえ、自分達から遠い所の話のように感じる。市民に広報する際には、もっと分かりやすい、なじみやすい名称を使ったほうがより身近なものに感じられると思う。(10歳代・男性) 等

●子どもの教育に関する意見

◇若年層から男女の違いを理解できるような意識付け

- ・小学校のうちから、男女共同参画社会の実現についての話し合いをする。男女それぞれの違いを挙げ、それを理解しお互いの良さを考えることが大事だと思う。家庭でも話し合い、男女が区別や差別なく今よりも平等に暮らして行けたらいいなと思う。(10歳代、女性) 等

◇体験型の学習の実施

- ・子供達のハローワークとして、過去なかった仕事が、今、こんな形で存在し、男女問わず従事している様子を参加体験してもらおう。ボランティア活動として、小学生も体験できる様、授業として考える。(50～59歳、女性) 等

●働き方に関する意見

◇育児休業・介護休業後の復職支援

- ・休業ではなく退職を選んだとしても、数年後に社会復帰することがそれほど困難ではない社会を望む。前職から数年間空白があるのなら、少しトレーニングを積んでもう一度スキルを取り戻すなどの教育や研修は有効。カムバックしやすい社会でなければ、優秀な人材を発見できないまま、会社や企業にとっても残念な事は起きていると思う。(50歳代) 等

◇女性が長く働きやすい職場環境

- ・ワークシェアリングを推進してもらいたい。働きたいけど育児、介護等の理由で長い時間を働けない女性は多くいると思う。女性の場合、生活環境が変わりやすい為、ワークシェアリングが進むと、環境に応じた条件で働くことができると考える。女性のリーダーの育成よりも、長く働ける環境作りの方が大切に思う。(50歳代・女性) 等

◇経営者の意識改革

- ・男女に関係なく意欲のある人にはチャンスを与え、適材適所に人員を配置すべきだと思う。結局会社を動かすのは上層部なので、役職のある人たちが意識を変えないと何も変わらないと思う。(20歳代・女性) 等

●子育てに関する意見

◇子育てと仕事の両立への支援

- ・子育てしながら働くことの出来る社会を作るために、保育所の数を増やすとともに再就職したいと思っている女性への社会復帰を促すイベントや就職先の斡旋を行うべきである。(20歳代・女性) 等

◇地域のサポートが必要

- ・看護師として正規で働いているが、時間外勤務が多く帰宅が遅くなる事も多い為、子供の留守番も増える中、各家族、親族もサポートする環境が有れば良いと思う。一番必要なのは地域のサポート、コミュニケーション、とやはり身近な場所でのサポート力だと思う。近所、地域の力がとても弱いと思う。(40歳代・女性) 等

●地域活動に関する意見

◇地域活動の情報発信

- ・性別に関係なく、また年齢に関係なくその人らしく生活するには地域とどのように関わればよいのか、社会人でも気軽にできるボランティアのような地域活動の情報をもっと発信してもらいたい。(40歳代・女性) 等

◇個人の能力と地域活動のマッチング

- ・仕事や地域活動に参加しやすい様に、スキルなどを市に登録する制度があればよいと思う。(50歳代・女性) 等

●暴力（DV・デートDV・性暴力）に関する意見

◇被害者への支援強化

- ・女性が活躍できる場所が多くなったが、女性の社会進出が進んでいくと男女の立場も変わっていき、DVの被害者は女性という考えが多いと思うが、これからは男性も割合が増えてくるのかなと思う。そういう面でも、サポートの窓口は、どちらでも対応できるようにしていただけたらありがたいと思う。本当に困っている人ほど、相談しに来ないし、本人が気付いていないと思う。1人でも相談窓口があつて良かったと思えたらいいかと思う。相談窓口以外でも色々な方法で呼びかけていけたらいい。(30歳代・女性) 等

◇性暴力被害者への支援強化

- ・西宮市に性暴力被害者のためのワンストップセンター（医療、警察、法律相談等）の設置を要望する。同封されていたDV相談室のカードの裏面に、性被害の相談窓口も記載してもらえると、より利用しやすいと思う。(30歳代・女性) 等

●男女共同参画に関する市の取組み

◇周知・PR

- ・僕自身、まだ高校生だが、市の取り組みや活動について目にしたり、意識したりする機会がない。親がそのような活動をしている姿も見ることがない。自分も含めて、市の活動に興味のない人が（特に若者の間で）多いと思う。市は政策をもっとアピールしてもよいと思う。(10歳代・男性)
- ・男女共同参画全般の事に対して、その場所に行かないと知らない事が多いと思う。もっと、皆が利用する商業施設に広告をすれば、利用する事や色々な事を知れるのではないかと思う。(30歳代・女性) 等

●その他

◇少子高齢化への対応

- ・少子高齢化が進行していて、将来高齢者を若者が支えることが困難になるかもしれないので、市は介護や福祉にお金をかけるべきだと思う。現在の介護士はほとんど女性中心で、体を持ち上げたり、お風呂に入れたり体力仕事が多く、きっと大きい負担を抱えているはず。だから男性も介護の仕事に関わり、個人の能力に応じて互いに支え合うことが必要だと思う。(10歳代・女性)
- ・私達の世代は、まだ家事・子育ては妻の役割であるというのが前提であったと思う。今後人口も減少し、労働人口が減り、若い世代への負担増は必ず起こってくる。元気な老人はどんどん働き、若い世代を助けていくべき。悠々自適の老後というのは考え直すべき。これからの若い世代はとっても大変である。男女関係なく、お互い何でもする必要がある。男だから、女だからなんて言ってもらえない。手の空いている人がすればいい。(40歳代・女性) 等

◇多様な意見を参考にした取組み

- ・アンケート結果をもとに、具体的な方針、実行計画を明示する事を期待する。共同参画については賛同するが、「働きたい女性」の声を聞く事だけでなく、「家庭を守りたい女性」の声も聞き、活動の実行をしてほしい。(20歳代・男性) 等

※他の意見をご覧になりたい方は資料編（p. 250）へ